

日本の大学によるベトナムへの協力

(記入フォーム1:日本語) 以下に記入ください。(記入内容のボリュームは問いません。複数行になっても結構です)

番号	大学名 (所在地)	ベトナム拠点名 (設置年月)	相手機関 (●:協定有)	分野名	協力事項	実績と今後の予定等	参考資料	関連 HP	備考
1	茨城大学 (茨城県 水戸市 他)		フエ大学外国 語学部(フエ 外国語大学) ●	人文科 学	学生交流	2013年に人文学部(現人文社会科学部)が学術交流協定を結び、茨城大学からのベトナム語短期語学研修(約2週間)の毎春受け入れをお願いし(2018年度から停止)、またベトナム人学生の留学受け入れ(1年につき2名まで)を行ってきた。今後も学生交流を中心として進めていく予定。		http://hucfl.edu.vn/vi/	
2	専修大学 社会知性 開発研究 センター /アジア産 業研究セ ンター	-	ベトナム・ダナ ン大学/ダナ ン経済大学● Da Nang University of Economics, The University of Da Nang	社会科 学	国際交流組織 間協定	2015年3月、本学アジア産業研究センターと協定締結。 ベトナム中部の企業(現地企業・外資企業)の研究およびベトナム中部とラオスを結ぶ経済連携の実態についての都市研究を行う。2019年4月、協定更新。 *研究交流実績* 2014年4月 ダナン経済大学講師1名をアジア産業研究センター客員研究員として委嘱 2014年11月 本学神田校舎でのシンポジウムにダナン経済大学より研究者1名参加。 2015年9月 本学神田校舎でのシンポジウムにダナン経済大学より研究者2名参加。 2017年9月 ベトナム及びラオスの企業調査実施。 2018年2月 本学サテライトキャンパスでの研究会においてダナン経済大学研究者1名が講演。 2018年6月 ダナン経済大学より研究者来校。学長表		https://www.senshu-u.ac.jp/asia-industry/	

						敬訪問・情報交換。 2019年2月研究会実施(於 ダナン経済大学)専修大学より研究者2名参加。			
3	横浜国立大学 (神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-1)	ブランチ オフィス (2014)	●ダナン大学 ※	土木、 機械、 電子、 化学、 日本語、 経営分野 等	・大学間交流協 定締結(2011) ・ブランチオフィ ス(海外協働教 育研究拠点)設 置 ・ダブルディグリー ・プログラム 覚書締結 ・教員交流、学 生交流、共同プ ログラム	● ブランチオフィス ➢ 2014年に設置 ➢ 安心・安全に関する実践的な科学技術の研究開発及び人材育成の協力拠点として運営を開始、協力分野が拡大中 ➢ ブランチオフィサーを担当するのは本学卒業生のダナン大学教員 ● JICA 草の根技術協力事業の採択 ➢ 2018年度パートナー型 ➢ (株)オオスミとの間で「ベトナム国ダナン市の市民を対象とした効果的な省エネ向上プロジェクト」に係る共同事業体を結成 ➢ カウンターパート:ダナン市商工局、ダナン産業貿易振興センター、ダナン大学		https://www.ynu.ac.jp/international/enterprise/branch.html	
4	長岡技術科学大学 (新潟県長岡市)		ダナン工科大学●	工学	共同プログラム	2006年度にツイニング・プログラムに関する協定書を締結し、ダナン工科大学にプログラム第1期生を受入れた。本学には第1期生が2009年度に編入学し、2019年度までに日本のコンソーシアム大学(2019年度現在3大学)へ51名の学生を受入れている。	03j-04-長岡技術科学大学	https://www.nagaokaut.ac.jp/kokusai/kokusai_tenkai/twinning_program.html	
5	岐阜大学 (岐阜県岐阜市)	—	フエ大学●	全分野 (主に農学)	学生交流 教職員交流	2018年に大学間学術交流協定が締結される。今後は学生交流を中心とした各種交流の実施を予定している。		http://hueuni.edu.vn/portal/en/	
6	京都大学 (京都府)	地球環境学堂 教育研究拠点	フエ大学●	地球環境学	共同プログラム	2004年学術交流協定締結。修士・博士課程の学生の受入および日本人学生のインターンシップ研修派遣、		http://www2.ges.kyoto-u.ac.jp/	協力事項 について

	<p>京都市)</p> <p>フエオフィス (2006年)</p>				<p>短期交流プログラム、国際交流事業での訪問研修、国際ワークショップ、国際シンポジウム等を多数開催。</p> <p>JICA 草の根技術協力事業(2006年～2009年、2010年～2013年)、JST 戦略的環境リーダー育成拠点形成(2008年～2012年)、文部科学省・組織的な大学院教育改革推進プログラム(2009年～2011年)、JSPS 研究拠点形成事業(2013年～2015年、2016年～2018年)、概算要求機能強化経費(2015年～2021年)に採択、学生交流、共同研究を展開してきた。今後も教育・研究活動について拠点を中心として実施予定。</p>			<p>て、学生交流、教職員交流、共同研究、共同プログラムいずれもあり。</p>
	<p>地球環境学堂 教育研究拠点 ダナンオフィス (ダナン理科大学内) (2007年)</p>	<p>ダナン大学●</p>	<p>地球環境学</p>	<p>共同プログラム</p>	<p>部局間協定として、ダナン理工科大学と2007年に学術交流協定、2013年に学生交流協定を締結。その後共同活動の実績から、2014年にダナン大学と大学間学術交流協定を締結した。また、学生交流協定については、2018年にダナン大学と拡大更新した。その間、修士・博士課程の学生の受入および日本人学生のインターンシップ研修派遣、短期交流プログラム、国際シンポジウム等を多数開催。科学技術振興調整費・戦略的環境リーダー育成拠点形成(2008年～2012年)、文部科学省・組織的な大学院教育改革推進プログラム(2009年～2011年)、JSPS 研究拠点形成事業(2013年～2015年、2016年～2018年)、概算要求機能強化経費(2015年～2021年)に採択、学生交流、研究者交流、共同研究を展開してきた。ダナン理工科大学には、実験室を備えた拠点オフィスを設置。2015年9月28日に本拠点を京都大学総長が訪問した。今後も教育・研究活動について拠点を中心として実施予定。</p>		<p>http://www2.ges.kyoto-u.ac.jp/</p>	<p>協力事項について、学生交流、教職員交流、共同研究、共同プログラムいずれもあり。</p>

7	関西大学 (大阪府吹田市)	-	ダナン大学●	経済学	共同プログラム	<p>経済学部にて短期留学 (GoLD : Global Leadership Development) プログラムをダナン大学の協力のもと実施している。ベトナムの経済をはじめ、歴史、政治、ベトナム語やベトナム文化に至るまで様々な内容を原則として英語で学ぶプログラムである。また、同大学日本語学科の学生と交流するほか、巨大ゴミ埋め立て場や日系企業とダナン大学の共同研究サイトである下水道処理などを訪問し、社会的課題についても、フィールドワークを通じて学んでいる。</p> <p>エクスカージョンとしては、ダナンに栄えたチャンパ王国関連の出土品を納めたチャム博物館の見学や、16世紀に国際港として発展し、当時の日本とも活発な貿易関係にあった世界遺産都市ホイアンも訪問。ベトナムの経済のみならず、広く社会とそこに住む人々のことを深く理解できるプログラムを実施している。</p>	http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_eco/faculty/abroad_program.html	
8	奈良先端科学技術大学院大学 (奈良県生駒市)		ベトナム国家大学ダナン市科学技術大学電子通信学部● フエ大学科学大学校●	情報科学 バイオサイエンス 物質創成科学 上述の分野を含めた融合領域	共同研究 学生交流 教職員交流	<p>協定校を中心に共同研究、学生交流及び教職員交流を活発に行っている。2018年度の主な活動は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベトナム科学技術院バイオテクノロジー研究所との現地の生物資源を利用した機能開発と産業利用、医療応用を目指した国際共同研究の実施 ・2018年度中にベトナムから20名以上の留学生を受入 ・国際担当理事を含め、本学教職員・学生がベトナムの大学(ダナン科学技術大学、フエ科学大学、ベトナム科学技術アカデミー生物工学研究所、ベトナム国家大学ハノイ自然科学大学)を訪問し、本学の教育研究内容を紹介 	http://www.naist.jp/international/	
9	岡山大学	岡山大学ベト	フエ大学●	農学・	共同プログラ	2006年大学間交流協定締結後、2007年から修士	http://okayama.hueuni.vn/	

	(岡山県 岡山市)	ナム事務所 (2007年3月)		環境学	ム	共同プログラム「岡山大学・フェ大学院特別コース」により学生を受入れている(実績:2019年3月末時点で80名がコースを修了し修士の学位を取得)。			
10	山口大学 (山口県 山口市・ 宇部市)		ダナン科学技術大学●	技術経営	共同プログラム 学生交流 教職員交流	2016年6月に山口大学大学院技術経営研究科が、ダナン科学技術大学含むアジア4大学とアジアMOTコンソーシアム(MOT教育をアジアに普及するためのプラットフォーム)を創設。以来アジアMOT教育シンポジウムを年2回開催しているほか、同大学には2018年に山口大学大学院技術経営研究科ダナン事務所・教室を開設。同年ダブルディグリー・プログラムを創設し、アジアにおけるMOT教育の標準カリキュラムの整備に取り組んでいる。		http://mot.yamaguchi-u.ac.jp/AIC/index2.html	
11	長崎県立 大学 (長崎県 佐世保 市)	ダナン (2017年9月)	ダナン外務局 (協定有)	全学部	交流事業	インターンシップの派遣、受け入れによる交流事業。ダナン市内での各種イベントへの参加。		http://sun.ac.jp/news/announcement/64805/	
		ダナン (2014年11月)	ダナン大学 (協定有)	全学部	教職員交流	交換留学生の派遣、受け入れ。両校学生の交流事業。		http://sun.ac.jp/exchange/accord/accord_list/danang/	
		ダナン (2014年8月)	ダナン市内の企業(外務局、さくら日本語センター等)	経営学部 国際経営学科	インターンシップ	経営学部国際経営学科の必修科目「海外ビジネス研修」として3週間のインターンシップを実施		http://sun.ac.jp/news/announcement/76807/	
		ダナン (2017年11月)	ダナン市人民委員会外務	経営学部	インターンシップ	アジア太平洋経済協力会議(APEC)のボランティアスタッフとして業務に従事		http://sun.ac.jp/news/announcement/67149/	

			局	国際経営学科					
	ダナン (2015年8月)	ダナン大学外国語学部日本語学科	経営学部 国際経営学科	学生交流	ダナン大学外国語学部日本語学科での浴衣着付け、折り紙などの日本語による学生交流、				
	ダナン (2016年8月)	ダナン大学経済大学	全学部	学術交流	太田学長(当時)は「化石資源の限界とビジネスチャンス」、および経営学部国際経営学科教員による研究報告				
	ダナン (2016年8月)	ダナン大学外国語学部日本語学科	経営学	教職員交流	経営学部国際経営学科教員による日本学科学生への日本語での「経営学」の講義を実施				